

# こどもニュース

2019年度

クリスマスアクト編

01.24 発行



子どもも大人もクリスマスを迎える様々な準備の時間をアドベントして過ごし迎えた「にじ組クリスマス」「クリスマス讚美礼拝」「クリスマス親子礼拝」「年長児キャロリング」、みな様とご一緒に祝い喜べたことに感謝申し上げます。

クリスマス讚美礼拝では、子ども達が厳かにイエス様の誕生を演じて大切な出来事を伝えてくれたことが、目を閉じると今も蘇ってきます。

この度もアンケートにご協力いただき多くの感動を分かち合い、また今後へ向けてのご意見などお寄せいただきありがとうございました。

何にしても、「どうしてこの時に？」と思うのは、行事の際に病気やけがでお休みしなくてはならない時強く思います。今回も残念ながら讚美礼拝の場に病気や事情でお休みの友達がいました。昨年お休みしたので何が何でも今年はお出たいと願っていた方や、上のお子さんの時には下の子の出産や病気で出られず3人目にして初めて年少の讚美礼拝を経験できた方のアンケートもありました。実は数年前、我が孫も幼稚園最後のクリスマス、念願の博士役に張り切っていましたが、当日インフルエンザにかかり参加できませんでした。

人生の中ではこのように“何故、今？”と思うことは結構あることです。しかし、子ども達から学ばされるのは、子ども達の本番は「今日」であり「昨日」や「明日」でもあり、同じくらい価値のある意味のある時でもあるということです。

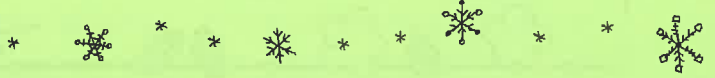
残念ながら試験などは“本番一回勝負！”、世の中ではそのようなことが多いかもしれませんが、であれば、せめて子どもの時にはそうではない評価をしてあげたいものです。日常の中で褒められ小さなことでも成功体験を積み上げてきた子は、失敗しても立ち上がり、何度でも挑戦する強さを身に着けていけると信じます。そのような保育、養育を心がけたいです。

今回はみな様のアンケートからそのお声を紹介いたします。また「いっしょにあそぼうの日」に向け、遊びの紹介編でもあります。この日をまたご一緒に楽しみましょう。

年間を通し様々な場面でのアンケートにご意見をいただきありがとうございます。アンケートを通しておうちの方々と協力しながら子どもたちにとってより良い保育を目指していきたいと思っております。今回も丁寧に温かい眼差しのご意見をありがとうございました。抜粋をご紹介します。(★：アンケートより)

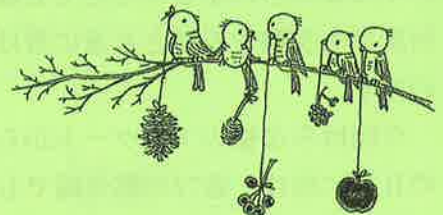


## クリスマスを待ち望む



- ★アドベントを通じて、クリスマスの意味を教えていただいたり、クリスマスまでのカウントダウンをしたり、こんなに指折り数えて待つクリスマスは初めてでした。
- ★讚美歌を家でも歌ってくれ、お友達の歌がうまいと教えてくれたり、年長さんのお友達の役をしてくれたりと本人も讚美礼拝を心待ちにしていたようです。
- ★今年はクリスマスブックをもらってからずっと練習していて、こんなにも楽しみにクリスマスを迎えることができたのは初めてでした。
- ★クリスマス前から、「とんとんとん やどやさん～」と歌ったり、「年長さんの〇〇くんは、〇〇役なんだよ。かっこいいんだー！」と話したり、少しずつクリスマスに向けて準備が整っていく様子が見てとれました。
- ★言葉ではなく、この時間を(アドベントも含め)共有することで受け継がれていくものがあるなあって幸せでした。娘が献金箱を持って「うれしいことやかなしかったこと、言ってみよ！」と誘ってくれるのも嬉しかったです。
- ★この一か月を通して、家庭では経験させてあげられない豊かな時間を過ごさせていただいたと感謝しております。私自身、クリスマスにじっくりと向き合ったことがなかったため、とても新鮮で、なんだかとても温かい気持ちになるクリスマスは初めてでした。

アドベントは「待降節」とも言います。その字の通り、イエス様のお誕生を待つ一か月のことを言います。生活の様々な場面で「スピード」を求められ、また何でも「すぐに」手に入る時代、ゆっくりと時間をかけ「待ち望む」ということがどれだけ大事なことから、待つからこそ喜びも大きいことを、子どもたちは教えてくれます。今年度は、「讚美歌を歌う会」「聖書を読む会」の方々の企画もあり、おうちの方々と一体になってアドベントを過ごせました。感謝します。





## 「本当の」クリスマス



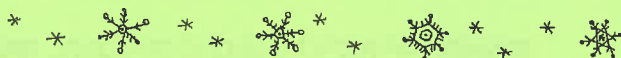
- ★みんなで一緒に礼拝する雰囲気がとてもあたたかく、胸いっぱいになりました。
- ★讚美礼拝では、子どもたち一人ひとりが自信の役割に真剣に向き合っている姿を目の前にして、心に響くものがありました。うまく言葉に表すことができませんが、とても温かい気持ちになりました。
- ★親子で讚美歌を一緒に歌えるなんて、すごくステキなことだと思いました。
- ★クリスマスの日、家でホールケーキを囲んだところ、「お誕生日のケーキじゃなくて、クリスマスのケーキなんだよ」と話したところ、「そっか！ イエスさまのお誕生日だ！」と。♪Happy birthday Dear イエスさま～♪と歌いました。
- ★クリスマスを年間の他のイベント同様に扱ってきた私たちにとって、2019年のクリスマスは例年のそれとは違うものになりました。クリスマスの意味、またお祝いをする周りの人々の姿を見、触れることにより、より深くじっくりとクリスマスに向き合うことになったかと思います。

子どもたちの姿からイエス様のお誕生をお祝いする「本当の」クリスマスの意味を知りました、という、嬉しい感想を多くいただきました。

園が大事にしていること、「こうありたい」と願っていることを子どもたちの姿からしっかりと受け取っていただき、また共感していただき感謝しています。3学期は私達のために生まれてくださったイエス様の「十字架と復活」をしっかりと伝えていきたいと思っています。



## 「愛され、育ちあう」



- ★年少・年中そして年長さん長い年月があったからこそ、子どもたちの役への想いや意欲が心の中で大きく膨らんでいるのが伝わり、とても感動しました。家で一生懸命練習している姿だけではなく、お友達のセリフや姿を教えてくれることが皆で作り上げていくということが自然に感じられていて嬉しかったです。
- ★本番数日前に息子から、「実は心配なことがある…」と言われ、何かと思ったら「自分の番が来る前に他の子たちを見てると、皆の頑張りに涙が出てきちゃうの」と言われました。皆も緊張しながらも頑張っているその気持ちわかるんだな、と心の成長も感じました。当日も実は何度も目元を拭いていました。



★自分の役だけでなく、お友達の役も話しながら「これは〇〇ちゃんが言うんだよ」などと皆の役を覚えていてその様子を話したり、家でも練習したりしている姿を見て、成長したなぁと思いました。

★「年中の時に、こんなきれいな音出してみたいって思ったから、(ハンドベルを)やりたい! って言った」と言っていました。年少・中とただ見ているだけじゃなくて、いろいろな思いを感じながら年長さんの役を見ていたんだな…と思いました。

★同じ年中聖歌隊のお友達が歌っている姿だけでなく、息子と異なる学年の子のセリフや歌を力強く言う姿(年長さん)や長時間大人しくイスに座って出番を待っている可愛い姿(年少さん)のどれにも、日々の送り迎えや息子の話などで知る子どもたちの成長を感じ、目頭が熱くなりました。

★子どもたちは一人ひとり姿形も性格も違いますが、共に過ごす中で相手を知り、受け入れ合い、一人ひとりがその子らしく共にクリスマスの喜びを分かち合っていました。私たち保護者も子どもに倣いたいと思いました。

★年長になったら…の憧れが自然に持てる縦割り保育の良さを改めて感じました。

★この3年間で年長のどの子どもに対しても成長を感じ、想い入れも深くなり、誰が登場しても感動でした。

★自分の息子だけではなく、全員の子がとても頼もしくて本当に一人ひとりの子の成長を感じることができて感動しかありませんでした。

★冬休みに入り、我が子に幼稚園のクリスマスはどうだった?と訊くと、「讚美歌の練習の時も、プレゼントや飾りを作るときも、アドベント礼拝の時も、いつも幼稚園の皆と一緒にいてくれたから頑張れたし、楽しかったし、嬉しかったよ! それにね、いつも神様が頑張れて応援してくれてたんだよ!!!」と答えてくれたことに驚きました。

自分の子どもだけではなくクラスの、学年の、子どもたち皆の成長を喜んでくださる感想を多くいただき、園全体が「愛され、育ちあう」関係を育んでいることが感じられました。ありがとうございます!

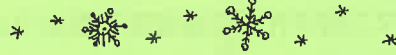
異年齢の子どもたちが一緒に生活をするということは、子どもたち自身が身近な友だちの姿の中に、少し先の大きくなった自分を想像したり、少し前の小さかった自分を振り返って今の成長した自分を実感できたりするということだと思います。お互いに刺激を受けながら大事なものが脈々と受け継がれていくのでしょう。また「育ちあう」ことはお互いの「違いを認めあう」ことでもあります。一人ひとりが神様からいただいた異なる「賜物」を活かしながら成



長できますように、これからも保育にあたっていききたいと思います。



## クラスの集まり・プレゼント

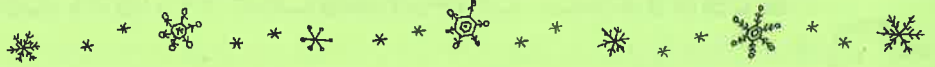


- ★子どもと向き合っのプレゼント交換をしたことがなかったので、少し驚いたと同時に嬉しかったです。
- ★すぐろくは帰ってきてすぐに、マスに色々な指令を書き足して、家族で楽しんで遊びました。
- ★プレゼントの「まめつかめゲーム」は家族みんなで対抗戦をして大盛り上がり!! 娘に負けそうになり、大人げなく本気を出しちゃいました。
- ★息子がマフラーのプレゼントをくれた時、「この編み目一つひとつに愛を込めてあるからね。寒い日にあたたかくしてくれるよ」と言ってくれました。私は愛されているな、幸せだなと思いました。
- ★毎年、今年のプレゼントは何かな?と楽しみですが、今年のマフラーは本当に素敵でした。毎日コツコツと編み続けていたようで、毎日心を込めて編んでくれたその想いがとても嬉しく、本当にかげがえのないプレゼントをもらえた幸せなクリスマスの日となりました。冬休みに入り、今度はパパのマフラーを編むのだと毎日編み物をしています。
- ★父母の会の皆さんが用意してくださった子どもへのプレゼント 星のオーナメントを作るため、お母さんたちと集まり、一緒に作る作業もとても有意義な時間でした。
- ★子どもと親とでプレゼントを渡し合い、お互いが感謝の気持ちを持つ また 伝えること、そして与えられる喜びを与えられる喜びを感じることができたように思います。
- ★クラスでのゲームやクリスマスプレゼント交換も、とても心温まる物で、他の園ではないであろうとても素敵な一日となりました。
- ★クラスで過ごす時間は安心してたのか、すごく自由にふるまっていたましたが、クラスでの様子が分かってよかったです。

少し緊張しながら讚美礼拝を終えた子どもたち、クラスでは一転リラックスして、どのクラスからも楽しそうな笑い声が聞こえましたね。子どもたちからもおうちの方からも、心のこもったプレゼント。プレゼントを「もらう」ことの多い子どもたちですが、「渡す喜び」も知ってほしい、と一生懸命準備しました。形のあるものに詰まった「気持ち」が一番のプレゼントでしたね。



## 親子礼拝



- ★クリスマス親子礼拝にも家族で参加できたことを嬉しく思います。ハンドベルも貴重な説明をうかがいながら、子どもたちになじみのある曲を聴かせていただき、親子で聴きっていました。年長さんのキャロリングも今年も天使の歌声でした。
- ★親子礼拝では美しいハンドベル演奏に心洗われ、とてもいい思い出になりました。
- ★親子礼拝では、卒園した子どもが参加させてもらえる温かい雰囲気がとても有難いと思いました。

アニー・ランドルフ記念講堂での親子礼拝、多くのご出席ありがとうございました、卒園生の懐かしいお顔も見られ嬉しかったです。

大学のハンドベルクワイアの皆さんには素敵な企画でコンサートを楽しませていただきました。年長さんの「天使の歌声」もすてきでしたね。



## にじ組讚美礼拝



- ★「クリスマスってイエスさまのお誕生日なんだよ！」「3人の博士が馬に乗ってきたんだよ。昔は車がなかったからね」と教えてくれ、毎日話を聞くことがとっても楽しみで温かい時間でした。
- ★当日は先生方の温かなパネルシアターが本当に素敵でした。そんな先生方の気持ちが伝わったのか、子どもたちもイスに座ることができました。にじ組さんらしい温かなクリスマス礼拝でお祝いすることができました。
- ★クリスマスの意味を幼稚園での数々の礼拝を通して、考えさせられたクリスマス期間でした。

にじ組さんは幼稚園での初めてのクリスマス。おうちの方と一緒にイエス様のお誕生をパネルシアターを見ながらお祝いしました。園中に流れる讚美歌の歌声を聞いてにじ組さんも覚え、歌っていましたよ。

子どもたちの姿が見えにくいというアンケートも寄せられました。しかし、讚美礼拝は、「劇」ではなく「礼拝」なのでどうぞご理解ください。これからも多くの方と共にイエス様のお誕生をお祝いしていきたいと思っています。

